



写真:シジュウカラ (撮影:令和元年4月8日)

「シジュウカラ」

文法能力を持つ野鳥

エ コミュニティセンター周辺のアカマツは一年を通して野鳥を観察するには最適なポイントになっています。特にシジュウカラは、春には設置された巣箱で営巣し、初夏には巣立つ姿を、冬にはアカマツの樹皮下に潜む昆虫を探す姿が見られます。

十羽前後で他の野鳥と共に群れとなる「混群」を作り活動していることが多く、お腹の縦に伸びた黒いネクタイ模様が識別点となり、双眼鏡があればすぐに識別できます。

最近の研究では、シジュウカラは泣き声を組み合わせたり、つなぎ合わせたりして文章をつくり、仲間と会話していることが明らかになりました。これは人間以外の動物では、唯一シジュウカラが持つ文法能力のようです。

晩秋のえびの高原。放射冷却によって冷え込んだ朝も野鳥たちは活発に活動します。無事にエサの少ない冬を乗り越え、春にまた巣箱にせっせとエサを運ぶ姿を見てほしいものです。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

シジュウカラ
Parus minor

スズメ目 シジュウカラ科

